

小山市都市と緑のマスタープラン

【全体構想】



令和6(2024)年3月



「田園環境都市おやま」のまちづくり

小山市は、農業、商工業のバランスが良く、東西南北の交通の要衝にあり、市街地の周辺に農地や平地林の田園環境が広がっており、市内中心部を流れる思川は、ラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」に繋がるすばらしい環境を有しています。渡良瀬遊水地は、絶滅危惧種を含む貴重な動植物が生息する雄大な自然の宝庫であり、近年では遊水地内に生息する国の特別天然記念物「コウノトリ」のペアからひなも誕生しています。このように、小山市の魅力は、コウノトリによって選ばれた素晴らしい自然に囲まれて、ゆとりある生活を送ることができる首都圏でも有数の田園環境都市であると考えています。

「田園環境都市おやま」のまちづくりは、この素晴らしい環境を将来にわたって維持向上させ、市民一人ひとりが真の豊かさを実感し自己実現を目指すことのできる、単に市街地整備や農地・緑地の保全等の特定の事業だけを行うのではない、SDGs の実践と一体化し、17 の目標をはじめあらゆる分野の政策の体系化と統合が必要とされるまちづくりなのです。

そして、「田園環境都市おやま」のまちづくりによって、市民が実感する真の豊かさとは、私たちの毎日の暮らしの中で本当に「大切なもの」を見つけ出し、それを守りながら生き生きと暮らし、確実に未来に繋げていくことの中にこそ、あるのではないのでしょうか。

私たちにとって本当に「大切なもの」を見つけ出すために、私たちは日々暮らしている小山市の成り立ち、風土、自然、文化、伝統というものを改めて学び直し、そして、希薄になってしまった地域コミュニティを再構築していかなければなりません。まちづくりとは、そこに生活する人々が自分たちの営みを常に見つめ直し、生涯を通して学んで行こうとする姿勢によって支えられるのです。

また、小山市全体の「田園環境都市おやま」のまちづくりを進める上で、その基礎となるのは地域ごとに行われているまちづくりの取り組みです。自分たちの住む地域に対する徹底したこだわりで結実します。私たちがどれだけ深く自分たちが生活する場所（＝地域）を良くすることにこだわり関われるのか、そしてその中で私たちにとって本当に大切なものを見つけ出すことができるのか、それによってまちづくりの成否は分かれてしまうでしょう。

「田園環境都市おやま」のまちづくりは、このまちを何とか良いまちにして将来世代に確実に繋いでいきたいという思いを抱きながら地域に根差して日々生活している市民によって担われる、市民のためのまちづくりなのです。

小山市長 浅野 正富

